

# ISHIDO PRESS

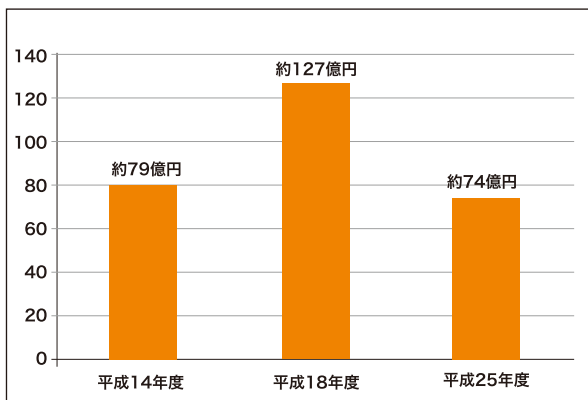
あしたの**姫路**のために。

姫路市議会議員 市民クラブ民主党

# いしどう大輔



## 〔 法人市民税収入 〕



姫路市の法人市民税は平成18年度の約127億3,000万円をピークに減少し続けています。その後、リーマンショックによって、平成21年度には約71億1,000万円と大幅に減少をしました。平成23年度には約92億円と持ち直しましたが、平成24年度約84億6,000万円、平成25年度約74億4,000万円と再び減少に転じており、リーマンショック以前の状況まで回復するには至っておりません。

固定資産税については、ほぼ400億円から420億円と幸いにして横ばい状況のため、地方税収入に対する影響を最小限に留めていると考えられますが、**大きく変動する法人市民税をいかにして安定的に拡大して**

いくかという自治体の**経営戦略**が必要になります。国や県にされない自主財源が確保できれば、それだけ市独自の判断で事業を行う事が可能になります。私は、法人市民税で100億円を目指し取り組むべきであると考えます。そのためには**企業の誘致**と同時に、**地場産業の安定的発展**を目指し、**技術開発や新規事業・取引先の拡大支援**を行います。また、**消費拡大のためにも姫路市の生産年齢人口(15歳～64歳)**の増大を目指し、**子育て支援や雇用拡大、住宅支援**なども行っていきたいと思っております。

### 【いしどう大輔 プロフィール】

1976(昭和51)年10月14日生まれ/O型/兵庫県姫路市出身/特技:水泳/マイブーム:スーパー銭湯・素潜り/口癖:だいじょうぶ、だいじょうぶ/経歴:姫路ひかり幼稚園 卒園・姫路市立城西小学校 卒業・姫路市立琴陵中学校 卒業・兵庫県立姫路東高等学校 卒業・立命館大学法学部 卒業・株式会社リクルート 退職・(現在)姫路市議会議員2期目

Facebook公開中!

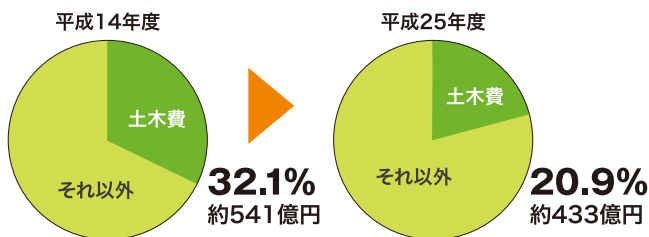
皆様のご意見・ご要望をお待ちしております。

- ① なぜ、事業が推進出来なかったのか？
- ② 残ったお金は、有効に活用が出来ないのか？
- ③ 予算計上の計算が適切に行われているのか？

という事です。皆様方の税金をお預かりしている以上、無駄な事業を

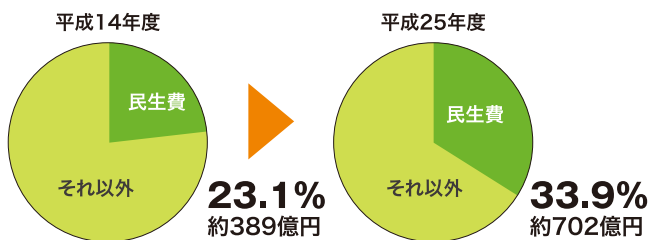
## 【目的別歳出割合(土木費&民生費)】

### ●目的別歳出割合(土木費)



姫路市の決算額は、10年前は土木費の比率が額も含め非常に大きくありました。しかし、平成20年度から民生費にかかる支出が一番大きくなります。無駄な公共事業を廃する考え方と高齢化により医療や福祉にかかる経費の増大や生活保護費の増大が大きな要因です。今こそ、**将来の姫路市の発展性を考えた戦略的な投資が大変重要**になってきます。予算総額は大きくなる一方で、投資にかかる比率の減少は、今後の姫路市の発展にとって大きな影響を生み出すと考えます。

### ●目的別歳出割合(民生費)



近年は、姫路市でも台風やゲリラ豪雨など雨による水害が発生しています。**道路の冠水や床下床上浸水による被害を防ぐため、雨水排水計画など防災・減災に向けた必要な投資は今すぐにも実行していくべき**であると考えます。これによって市民の皆様の安心安全な街づくりを進める事が出来る様になります。

## 【目的別歳出割合(教育費)】

戦後、日本がこれだけの成長を遂げられたのは**教育の力**です。しかし、姫路市における教育費は金額こそ大きく変わりませんが比率は平成15年の13.2%をピークに減少しています。

学校施設の改善も含め、全ての子どもたちが様々なチャレンジが出来る環境を作るためにも、**教育費の拡大が大切**です。正に、姫路市の将来投資として予算の15%~20%程度の取り組みが必要であると考えます。

